

SNS 上のいじめを考える教育的活動

甲南女子大学 日本語日本文化学科 富田幸子

1. 情報モラル教育の必要性

東日本大震災が起こった 2011 年、電話回線を使わないメッセージアプリ、LINE のサービスが開始された。それまでは、携帯電話といえばガラケーが主流であったが、LINE の登場は、中高生の間でのスマートフォンの普及率を一気に押しあげた。この LINE をやりたいがため、瞬く間に生徒の間でスマートフォンが広がっていく状況があった。その当時、中学校勤務だった私は「このスマートフォンの広がり、学校現場で多くの問題を引き起こしていくだろう、学校でも真剣に取り組むべき課題である」という思いを一段と強くした。

事実、簡単に他者とつながる LINE の世界では「誰々の書き込みが気に食わない」と本人の気持ちを考えることなく、いとも簡単にグループから退会させられる、面とむかつては言えないひどい悪口が書かれる、写真を勝手に載せられるなどのトラブルが頻発した。考えてみると、今や当たり前になっている情報モラル授業は、その頃の学校ではほとんど実施されていなかった。車の免許を持たない子どもが、ルールを学習することなく、道路上に出て運転するようなものだ。それが時には人を傷つけ、自分の将来にも影響することへの危機感もなく、インターネットの社会に飛び出していった。

SNS は他者と文字でやり取りするため相手の感情が想像しにくく、LINE でのいじめは「他のネットいじめと比較して特に閉鎖性が高く周囲が認知しづらいという問題」が指摘され（藤原ら、2023）、SNS のトラブルは対面時より罪悪感が低いと考えられる（河野、2020）。こうした問題点が指摘されながらも、今も「LINE は現代の児童生徒にとってはコミュニケーションツールの核」（藤原ら、2023）であるため、学校現場での情報モラルに関する教育は必要不可欠といえる。

2. 心に訴える演劇の取り組みの影響

SNS の登場によって、いじめ事象もリアルの世界からインターネットの世界に潜りこんでいった。そのため、いじめは、教師や保護者がより気づきにくいもの、気づいた時には深刻な事態になっているケースも多い。令和 5 年度の「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」によると、小・中・高等学校及び特別支援学校におけるいじめの認知件数は 732,568 件であり、前年度から 7.4%増加、過去最多となっている（文科省、2024）。いじめ事象は、学校や家庭において、今も避けて通れない重要な問題である。

A 市ではいじめをなくしたいという思いで生徒会メンバーが中心となり、平成 20 年よりいじめをテーマとした劇を上演してきた。シナリオには、ネットの世界で起こっている事例を取り込み、いじめが起こるプロセスを描いた。この生徒会のメンバーによるいじめ撲滅劇

はコロナ渦に入り、生徒会が集まって行う活動が難しくなるまでの11年間、オリジナル作品が毎年上演された。

いじめをなくしたいという思いで取り組んだいじめ撲滅劇であるが、この取り組みでの注目点としてあげられるのが、劇に出演した生徒会執行部メンバーの変容である。演劇とは、他者の立場に立ち、どのような気持ちでいるかを考え想像しながら、他者になりきるものである。参加生徒は、自分の役柄を演じることや、いじめ場面での他者の様々な演技を身近に見ることで、いじめ事象がまるで現実であるかのように体感できる。いじめ撲滅劇上演後のアンケートによると、劇参加の生徒会執行部メンバーには、劇を鑑賞しただけの生徒会執行部メンバーより、いじめに対する傍観者意識の低下傾向が有意にみられた(富田ら、2022)。自らが演じる演劇的手法の取組は、他者の立場にも立つことで、普段気づかない他者の感情や思考の理解が可能となることが伺われる。

次に、2018年7月に上演した「You Are Not Alone」といういじめ撲滅劇のシナリオをあげる。学校では1年間を通して様々な行事が行われる。そうした行事は、学級全体の協力体制が必要であり、学級のチームワークが強まることも多い。しかし、実際には、そこに至るまでに様々なプロセスがあり、人間関係でのトラブルが起こるということも珍しくない。

「You Are Not Alone」では、1年間の行事の中で最も盛りあがりをもせる体育大会を取り上げている。体育大会本番までのメンバー決めや練習の場面では、学級の人間関係が如実に反映される。体育大会までに、どのような体験やエピソードがあるのか、生徒との話し合いをいかしてシナリオを制作した。中学生が最も使っているSNSの場面を再現し、いじめが広がっていくリアルなシーンを描くことで、最近のネットいじめの様相を表した。

<登場人物>

配役	特徴	配役	特徴
長峰 隼人	学級委員	麻川 直子	学級委員・クラスの中心的な生徒
北山 悟	クラスの人気者 いじられキャラ	仲本 渚	普通の生徒 麻川の友だち
磯部 剛志	おちゃめな生徒 クラスの人気者	戸山 緑	普通の生徒 麻川の友だち
山本 怜	やや気弱な生徒	瀬川 美咲	島田に同調的な気の強い生徒
梶井 達郎	やんちゃな生徒	川元 博美	島田に同調的な気の強い生徒
中村 将也	普通の生徒	沢村 優花	島田の友達だが実は苦手としている
藤井 達也	将棋の棋士を目指す優しい生徒	杉田 里美	普通の生徒
田川 雄哉	体育委員	井田 陽子	普通のおとなしい生徒
島田 恵	体育委員 気が強く行動的な生徒	岡田 はるみ	普通のおとなしい子
廣田 沙友梨	転校生 ほんとはリーダー的な生徒	先生	担任

「You Are Not Alone」

S 幕前

開演ブザー。ひきつった顔でスマホを見ている廣田の様子がビデオが流れる。

暗転

S 教室 授業風景

互いに教えあうグループ学習の最中。チャイムが鳴る。

先生 あと2分・・・2分で集めま～す。

磯部 先生、もうちょっと時間ほしいです。

先生 今日はずいぶん粘るのね、磯部君。

北山 俺もあと5分あったら、全部解けそう・・・。

磯部 まじ？悟。

瀬川 あと1時間のまちがいじゃないの。

北山 うるさいなあ。久々に真剣になってんのに。

先生 (しばらく様子を見て) は～い、時間です。じゃあ、プリント回収。(回収始める)
今日は皆、びっくりするくらい熱心に頑張ってたね。明日もこの続きするけど、頑張ろうね。えっと、係、廣田さんだよ、あとで職員室に持ってきて下さい。

廣田 (頷きながら) わかりました。

長峰 起立・・・礼。(数人が教室から出ていく)

麻川 今日の悟、ほんと頑張ってたね。

北山 お前に教えてもらって、マジわかりやすかった。サンキュー。

戸山 北山君が頑張るところ、私、初めて見た。

北山 俺だってやるときは、やるんだよ。

山本 やっぱ2学期ともなると、皆、違うって感じになるんですね～。

磯部 今度の実テで、だいたいの進路決まるんだろ。俺、マジやばい。

北山 お前が言うなよ。俺なんか、行くとこあるのかわかんないっていうのに・・・。

瀬川 何とかなるって。

北山 気休め言うなよ。俺んち、公立だめなら、働けって言われてる。

田川 おれとおんなじ！

杉田 三者懇談・・・いやだな～。

廣田がプリントを持って教室から出ていこうとする。

沢村 廣田さん、ごめん、これもお願い。

無表情で受け取り、出ていく廣田。

川元 なに、あの受け取り方！

瀬川 (苦笑しながら) 相変わらずそっけないね。

杉田 廣田さんの笑ってるところ、見たことない。

沢村 私はあるよ。昨日、岡田先生の授業で、悟がうけねらって、こたえたじゃん。

川元 ああ・・・あれ・・・。
梶井 俺も見た見た！ちょっと口元緩めてさ。あの廣田が笑ってやがんの。
瀬川 あんた、よく見てんだね。もしかして廣田さんのこと気になってたりして・・・。
梶井 変なこと言うなよ。
麻川 もう転校してきて、1か月も経つんだから、いいかげん慣れてもいい頃なのにな。
川元 クラスのLINEに招待しても、彼女入ってこないじゃん。
島田 まあ、いいんじゃない、人それぞれで。
瀬川 来るものは拒まず、去る者は追わずってことよ。ね～悟！
北山 さるって？なんだよ・・・俺のこと？
瀬川 そんなこと言ってないって！もう・・・意味わかってないんだから・・・。
北山 バカにするなよ。俺だってな・・・。そのうち60点いいや、35点はとってやるぜ！

皆、笑う

長峰 （教室に入ってきて）おい、次の社会、視聴覚室に移動だぞ。

田川 やったあ・・・。

長峰 筆記用具は持って来いだって・・・。

皆ワイワイと全員出ていく。廣田が帰ってくると、誰もいない。

廣田 え、移動？（時間割をマジマジと見る）

筆記用具を取りに来た沢村。

沢村 あ～よかった・・・。（筆箱を見つけ、慌てて出ていく）

廣田 あの・・・。（追いかけようとするが無視される）

暗転

S クラスのグループLINE

今日のビデオ、けっこう、面白かったな。
俺は・・・廣田のあせってた顔の方がおもしろかった。
そりゃ、あせるだろ。15分も遅れてきたんだから。
先生も、あんなに怒らなくてもいいのにね。
高橋先生、すぐキレるからな。
視聴覚室がわからなかったんだろ、あいつ。
可哀そうだよ、廣田さん！
転校生なんだから、皆・・・もっと親切にしろよ。
無理、友だちになれそうにないから・・・。
無理強いはいけませんよ。ハイ。

暗転

S 教室

下校の準備中 一部が掃除中だが終わりかけており、次々と帰っていく。

他クラス女子 （教室の戸口で）あれ、恵、いない？田川くん、今日の委員会、第二理科室に変わったから言っておいて・・・。

田川 わかった。

長峰 ちゃんに行けよ。田川。

磯部 今日、綱引きとリレーのコース決めるんだろ。
戸山 頑張ってきて。
田川 頑張れって言ったって、クジだからな。
北山 弱気になんなよ。
瀬川 そうよ、私たち体育大会にかけてるんだからね。インコース絶対とってきて！
田川 わかりました。いってきます。す。(敬礼して出ていく)
仲本 ダンスで踊る場所も、今日の体育委員で決めるんでしょ、
杉田 取りたいよね、本部席前。
沢村 毎年、一番うまいクラスが本部前で踊ってるよね。
瀬川 太田先生、いつも3組のことならほめてくれてるし、いけるかも・・・。
川元 絶対いけるよ！私たちのクラスが一番なんだから。
磯部 そういうのって・・・何て言うんだっけ。
北山 (考えながら) 一挙両得。
磯部 違うだろ。えっと・・・。
藤井 (本を読みながら、さらっと) 自画自賛！
磯部 さっすが、ふ～みん。将棋だけではありません。

皆、笑い、帰りかける。(島田が入ってくる。)

川元 あ、恵。今日の体育委員会、第二理科室でやるんだって・・・。
島田 えっ！(困った感じで) 今日だったっけ。
戸山 ダンスの演技場所、決めるんでしょ。
麻川 いい場所取ってきてね、恵。
瀬川 (手をあげて) 絶対センター！お願いします！
川元 恵に任せとけば、大丈夫だって・・・。

皆、次々出ていく。

島田 ね、優花、今日の体育委員会、わたしの代わりに出てくれない？
沢村 え～。
島田 私・・・今日、抜けられない大事な用事があるんだ。
沢村 (不服そうに) まあ、いいけど・・・
島田 助かる。頼んだからね。(急いで帰っていく。)
沢村 なによ。ほんと勝手なんだから・・・。私だってさ、用事あるんだよ。困ったなあ・・・。
(周りを見て)・・・廣田さん。体育委員会、代わりに行ってくれないかな。私、国語の宿題、家に忘れてきちゃって、すぐ帰らないと・・・。内田先生、提出期限守らないと、絶対受け取ってくれないでしょ。
廣田 提出は5時まででしょ。委員会に出てからでも、間に合うんじゃ。
沢村 実をいうと・・・まだやってないんだ(苦笑い)。だから、今からすぐに家に帰ってやっても、5時ぎりぎり・・・。
廣田 (ちょっと間) いいよ、行っても。

沢村　　ほんと！

廣田　　場所は・・・？

沢村　　第二理科室！B棟の3階。助かる～。ありがと。お願いします（慌てて出ていく）

荷物を片づけている廣田。

暗転

S　クラスの一部によるグループLINE

まじで～・・・。一番、端っこじゃん。

3組が、一番スカ引いたってわけか。本部から一番遠い！

一気にやる気失せるわ～。

本部と反対側に向くんだったら、写真撮れる？

後ろ姿ならね。

なんで、こうなったの？

あいつのせいよ。

6組の星野に聞いたけど、廣田さん・・・どこでもいいって言ったらしいよ。

ほんと！

信じられない。

クラスのこと考えてないのよ。

体育大会がどれだけ大切か、考えろ。

転校してきて、1か月の人には無理なのよ。

なんで今頃転校してきたんだろ。

訳ありに決まってるじゃん。

帰れ、元の学校。

怖い怖い・・・。

暗転

S　教室

男女分かれて、体育大会のメンバーを決めてる最中。

川元　　4組がセンター？納得できないな。

瀬川　　（怒ったように）廣田さん、どこでもいいって言ったってのは、ほんと？

廣田　　どこでもいいとは言った覚えはないけど・・・。

田川　　遅れてきたから、いい場所、よそのクラスに取られたんだよ。なあ、廣田！

島田　　遅れた？

瀬川　　なんで、遅れたのよ！

仲本　　廣田さんも、第二理科室って、聞いてたんでしょ。

沢村　　き、きつと・・・4組の星野さんに押し切られたのよね。彼女強引だから・・・。

瀬川　　そんなので決められたら、たまんないな。抗議しようか、太田先生に。

田川　　それより・・・お取り込み中なんです。

長峰　　肝心の女子のエントリー、決まった？あと5分で提出だけど・・・。

戸山　　1000M走が決まらないのよ。

梶井　　さっさと決めろよ。

磯部　　男女そろわないとエントリー出せないんだぞ。

麻川　　こういう時、陸上部がいないクラスって、きついよね。

島田 優花、この200Mやめていいから、1000行ってくれない。お願い！
沢村 私？絶対無理！
島田 (ため息をついて) じゃあ、博美・・。
川元 私・・それだったら、休む！
磯部 情けない奴らばっかだな。(藤井の手を取り) このふーみんだって800Mリレーに出るんだぜ。
北山 将棋盤持って、ふーみん、走りま〜す。

皆、笑う。

麻川 皆、笑うけどさ、藤井君、もともと走るの速いんだよ。将棋で忙しいから、運動部には入ってないけど。
戸山 小学校の時なんか、クラスで一番速かったんだから。
寺井 へ〜人は見かけによらないってことよね。
田川 誰でもいいからさ・・早く出ろよ。時間がないんだ。
磯部 クラスのために出るって奴はいないのかよ。

「1000Mだけは無理」みたいな感じで、皆、口々に言い合っている。

長峰 まだ決まってないのは？(5人が手をあげる)・・5人か。
杉田 私と博美は、2人3脚にいきたいんだ。ねえ！(岡田に同意を求める)
岡田 絶対1位取るから・・お願い！
島田 ふ〜(ため息)・・。みどりは。
戸山 私、去年も無理やり、障害物に出さされたから、今回は100Mで許してほしいな。
田川 どうするんだよ〜。
梶井 女子はこれだから困るんだよ！
島田 廣田さん、転校する前はバレー部だったのは本当？
廣田 まあ・・。
瀬川 じゃあ、廣田さんでいいじゃない。
川元 ダンスであんなことになったんだし、少しはクラスの為になってももらわないと！
島田 向こうで、運動部だったんなら・・いいかな。1000Mは廣田さん！
廣田 そんなに速くないよ、私。
沢村 いいって・・出てくれるだけで。ね、皆。

ゆっくり頷く廣田。他のメンバーは自分に回ってこないのが喜んでいる。

長峰 やっと決まったな。雄哉、早く持って行けよ。

田川と島田が2人で出ていく。皆、帰り仕度を始める。

麻川 剛志、今日も男子は居残り？
磯部 ああ・・。5人だけだけどな。
北山 山本がいつも同じところで落ちるんだよ。
山本 すんません。
戸山 いいよね。男子はまとまってて。

磯部 お前らだって頑張ってるじゃないか。
北山 体育の授業の時も島田の声、はんばじゃないぜ。太田先生の声より鳴り響いてる。
沢村 (肩を落とし、ため息) は～・・・。
瀬川 優花、めげない！ファイト、ファイト。
沢村 苦痛だよ。もうやりたくない。
山本 どうしたんだよ、沢村。
仲本 恵の言い方がきついからね。
麻川 優花の動きが皆と合わないから、今日の授業でも・・・それを恵が怒って。
磯部 島田に睨まれるから、皆必死になるんだろ、それでうまくなるならいいだろう。
北山 まあ・・・そうだけど。

男子はふざけて、足をあげてダンスをする。

戸山 私たちは、もうちょっと楽しく練習したいのよね。
杉田 そう、ギスギスするんじゃないかって。皆・・・そう思ってる。
磯部 島田にそのこと言えよ。
北山 そうだよ、こんなところで、ブチブチ言っていないで・・・。
川元 (ふと山本を見て) あんた言える？
山本 む、無理です。
川元 でしょ。誰も恵に言えないって。それより、優花、帰ろう。今日の塾の宿題やっていないんだ。
沢村 いいかな。残らなくて。恵、ダンス委員は残れとか言ってたし、怒らない？
川元 今日は、もう授業でたくさんやったんだし、明日やったらいいのよ。
瀬川 だよな。岡田さん、恵に適当に言っといてくれる・・・。
岡田 う、うん。
戸山 帰ろう、直子。

皆帰っていく。岡田と井田だけが残ってる。島田が戻ってくる。

島田 あれ？皆は・・・。
井田 何か用事があるみたいとか言って。
島田 今日は隊形を変えるから、ダンス委員は残るように言ってたのに、しょうがないな。

ダンスの曲をかけ始める。

岡田 私たちも帰るけど、いいかな。
島田 (しぶしぶ頷き、出ていく二人を見て) は～・・・。(ため息)

廣田が帰ってきて、帰る用意を始める。しばらく間

廣田 まだ帰らないの？
島田 3組は後ろの方になっちゃったでしょ。だから、隊形変えるの。今のままだと、一番後ろの人は、前から見えないからね・・・。
廣田 ごめん。そんな場所になっちゃって・・・。
島田 謝らなくていいよ。それより、廣田さん、なんで遅れたの？

廣田 第二理科室、B棟の3階って聞いてて、行ったらそこ、第一理科室だったんだ。

島田 優花が言い間違えたの？あの子抜けてるからな。さっき、皆が廣田さんのこと、責めてた時、間違って教えられたって、言ったらいいのに。

廣田 言ったところで、場所はもう決まったんだし。それより、この曲、マイケルジャクソン？

島田 よく知ってるね。これ、退場曲にするの、どう思う？この曲をバックにさ、太田先生にメッセージを言うんだ。「ありがとうございました」って。そのあと旗を持って・・・退場！

廣田 「ユー アー ノット アローン・・・君は一人じゃない」か。

島田 ラストが目につかなくてこない？最後は全員感動して・・・退場しているところ。

廣田 ちょっと意外。島田さんなら、もっと激しい曲が好みじゃないの？

島田 (首を竦め笑いながら) ね、廣田さん、前の学校でバレー部の部長だったんだって。

廣田 何で知ってるの？

島田 廣田さん、どのくらい走れるかわかんないから、メンバー表出す前に、先生に聞きに行ったんだ。先生も言ってたよ、廣田さんは運動が得意だから大丈夫だろうって。あの 1000M枠、皆が敬遠して、毎年決めるの大変なの。無理やり押し付けちゃって、ごめんね。

暗転

S 体育大会当日 幕前

歓声が湧き上がっている。競技を終え観覧席へと向かっていた廣田に、3人が追い付く。

瀬川 (後ろから声をかける) 凄いじゃん、廣田さん。

川元 ダントツの1位だもんね

廣田 周りがそんなに速くなかったから。

川元 そんなことない。2位の佐藤さんは、去年1位だったんだよ

沢村 かっこよかった～廣田さん。

瀬川 もしかして、廣田さんの方が恵より早いんじゃない。

川元 そうだよ、きっと。

瀬川 ねえ、廣田さんにクラスリレー、2回走ってもらおうよ。

廣田 私が？

瀬川 その方がいいって、クラスのためにも・・・。

川元 じゃあ、恵に誰が言うの？2回走るのは、廣田さんにかわれって・・・。

瀬川 悟に言わそうよ。あいつなら言えるって。

沢村 どうだろ？言えるかな。恵には、皆、遠慮するからなあ。

「200M 出場の選手の招集を行います」と場内アナウンスがかかる。

川元 あ～招集！

瀬川 ドキドキしてきた～。じゃあね、廣田さん。

廣田 (3人の姿が見えなくなると) 2回も走れって！・・・ちょっと急すぎないですか・・・。

観覧席に戻ろうと歩いていると、車椅子の女性がうしろから近づき声をかける。

母 あ の ・ ・ 。

廣田 あ、はい。

母 3年の400Mリレーは終わったでしょうか？女子なんですけど・・・。

廣田 ちょうど今からです。あつ、今、トラックに入ってきました。よかったら、観覧席までお連れしましょうか。

母 有難う、ご親切に。でも、ここでも見えますから。今日もね、実は来てること娘には内緒なんです。

廣田 は、はい。(グランドを見ながら) あ、始まりました。よしよし、すごい！(笑顔)

母 あ の ・ ・ トップ走ってるのは・・・。

廣田 私のクラスです！3組、頑張れ！・・・あ～(恵がこけるのを見て、顔を暗める)

暗転

S 教室

一人ぼっちで無視されている島田。他の生徒は楽しく戯れている。

S クラスの一部のグループ LINE

凄すぎ！最後の3人抜き！

大正解！廣田に2回走ってもらって～。

それに引きかえ・・・島田の奴なあ。

無理して走るなよ。

あの時のこけ方はすごかった。

せっかく廣田が3人抜いたのに、最後抜かれてやがんの。

あいつが走ってなかったら、2位には、なれてた。

練習の時も、〇〇は真剣に走ってないとか、きつかったあ。

人のことより、自分だろ。皆の足引っ張って！

※「怒る」スタンプ

クラスの女王様ですから・・・許して下さい。

女王の資格なし。

※「その通り」スタンプ

最低だな。

優花、可哀そうだった。ダンス練習の時も何かと言われててさ・・・。

ほんと・・・それ・・・。

明日からは、どうする。

無視だな。

※「御意」のスタンプ

暗転

S 島田の家 リビング

母 最近、どう、学校。

島田 どうって別に・・・。(こわばった顔つきで、宿題をしている島田。)

母 今度の懇談だけど、お母さんじゃ駄目かな、お父さん、今会社が大変で忙しいらしいの。

島田 お父さんに来てほしい。大事な進路の話だし。一学期もそうだったから・・・。

母　　そうよね。お父さんに・・・もう一度お母さんから頼んでみるわね。

恵は鞆からノートを取り出すが、落書きされているのを発見して、顔が引きつる

島田　　（ぼそっと）お母さん、私・・・明日・・・学校休んでいいかな・・・。

暗転

S　教室

仲本　　学級委員、なんで呼ばれたんだろ？

戸山　　明日からの練習場所の打ち合わせじゃないかな。

井田　　体育館の舞台、どのクラスも取りあいだもんね。

磯部　　配役だけど、このキャストは、梶井と井田、それに悟でいいんだな。

中村　　誰がこのシャイロックの役をするんだ？

北山　　演技力が問われるんだよな、この役。

川元　　シャイロックは、あくどい商人なんだよね。

梶井　　それなら、瀬川がぴったりかも。

瀬川　　なに、それ・・・。失礼ね。

川元　　それを言うなら、今、休んでる人が、一番あってるんじゃないの。

梶井　　それは言えてる。

一部笑う。一部は黙っている。

廣田　　誰も立候補ないんだったら・・・私、やってみようかな。

仲本　　いいの？廣田さん！

井田　　シャイロックって、男役だよ。

廣田　　わかってる。でも、なんか面白そうだから。

磯部　　たすかる～挑戦者の廣田に・・・拍手！

戸山　　廣田さんなら、きつとうまくやれるよ。

北山　　宝塚みたいにやったらいいんだよ。「皆さん、本日はようこそ！」こんな感じでさ。

皆、笑う。学級委員の2人が戻ってくる。

戸山　　直子、先生、何だって？

麻川　　あのさ、今聞かされたんだけど。恵、転校するんだって。

皆　　え～！（皆、驚く）

杉田　　この時期に！あと5か月で卒業だよ。

長峰　　詳しいことはわかんないけど・・・。千葉へ急に行くことになったらしい。

麻川　　先生がね、急なことだから、お別れ会みたいなことまでは出来ないにしても、色紙を作るとか、最後皆で送ってあげて欲しいって・・・。

瀬川　　色紙だなんて。

川元　　恵に・・・なんて書いたらいいの？

北山　　「向こうにいても私たちのこと忘れないで」とか・・・女子は、そういうの書くんじゃないねえの。

瀬川　　そんな・・・。書きにくいよ、ねえ、優花。

返答に困った様子の沢村。

- 磯部 転校ってさ。俺たちの LINE が原因じゃないよな。
- 梶井 川元、お前、調子こいて、島田の悪口、書いてたよな。
- 川元 あんたもでしょ。無視しようって書き始めたの、梶井、あんたじゃない。
- 梶井 お前もそれにのったじゃないか。
- 仲本 恵はよんでないよね、あの LINE。
- 麻川 どうか。あの新しく作った LINE には、恵は入ってなかったけど・・・。
- 中村 誰かがばらしてないか？
- 長峰 ああいうのって、広まったら一気にもんね。
- 麻川 それがなくても、自分が無視されてるって、恵は感じてたよ。
- 梶井 仕方ないだろ。ずっと調子こいてたんだから・・・。
- 瀬川 あ～思い出しちゃったじゃない。恵のせいでクラスリレー優勝逃したこと！

一部の生徒で盛り上がる。

- 廣田 いつまで盛り上がってるの、そんなことで？それって責められることなのかな。
- 川元 だって・・・ほんとのことじゃない。
- 瀬川 転校してきた廣田さんは、まだ知らないことがいっぱいあるのよ。
- 沢村 皆・・・恵にずっと遠慮してきたのは事実だから・・・。
- 廣田 やっぱり同じなんだね。このクラス・・・やっとなじめたかなと思ってたけど、やっぱり皆同じ。学校ってそういうところなのかな。
- 岡田 なに、同じって？
- 廣田 誰かがいじめられてる時は、それで皆安心してる。自分に火の粉が飛んでこないよう、黙って皆見てる。そういうことだよ。私ね、転校してきたのもね、前の学校にいられなくなったから、引っ越したんだ。

衝撃の音。

- 仲本 ちょっと信じられないな。今の廣田さんを見てたら。
- 廣田 私ね、向こうでバレー部のキャプテンだったんだ。
- 北山 らしいな。聞いた。(頷いている)
- 廣田 春の試合、十分勝てる試合だったのに、最後連続で失敗ばかりした子がいたんだ。その子、練習で走るのをさぼったり、いつもいい加減でさ。
- 田川 そういう奴、いるいる。
- 廣田 だから・・・試合が終わった時、もっと普段からちゃんとやろうって言ったんだ。当たり前のこと言っただけなのに、翌日退部届を出してきて、ついには学校も休むようになっちゃって・・・。
- 杉田 それで不登校？
- 廣田 そしたら、さすがに何があったんだって、顧問も担任の先生も騒ぎだして、結局最後は、私のせいみたいになって。そんなつもりはなかったし、全然違うって、私も言いたかった。ありもしないことまで、ネットに面白おかしく書かれて・・・。

中村 ありがちな、そういうのって。
廣田 だから、このクラスの LINE だって誘われても絶対入らなかった。もう懲りてるからね。友だちも特にいないし、卒業まで静かにしてたら、あっという間に過ぎるって・・・自分に言い聞かせてた。でも・・・でもね・・・。
岡田 随分変わったよね、廣田さん。
戸山 今は楽しそうだもん。いろんな人と楽しく話してる。
仲本 私・・・いいなっていつも思ってたよ。
廣田 誰ともしやべらず、来なくなった島田さん、今どんな気持ちなんだろう。私、島田さん、苦手だったけど、ダンスにかける彼女は本気だったよ。感動したこともあるんだ。あの日も教室にたった一人残って、ずっとずっと・・・ダンスの隊形考えてた。
戸山 ダンスの曲のテンポが速くて・・・私・・・ついていけなかったんだけど、途中で曲変わったよね。あの変更って、恵の提案だったってのは、本当？
麻川 早いテンポについてこれない子がいるからって、あの時、先生にかけあったのは、恵だって聞いている。
北山 そうなのかよ。島田もいいところあるじゃん。
川元 そんなこというけど、放課後の練習だってさ、今日は駄目だとか、恵自身がさぼることがあったんだよ。
瀬川 委員会を恵がさぼらなきゃ、踊る場所だって、あんな後ろの場所にはならなかった。
沢村 違うの！恵はさぼったわけじゃないの。いつも早く帰るのには、わけがあったんだ。
杉田 なによ、それ？
沢村 あの日委員会を廣田さんに頼んで帰ってたら、私・・・途中で、見ちゃった。お婆さんが乗った車椅子を押しながら恵が病院に入っていくところ。恵、絶対人に言わなかったけど、家のこと色々手伝っていて、結構大変なんだ。廣田さん、ごめんね。ダンスの場所が後ろになったのも、私のせいなんだ。皆に黙ってたけど、打ち合わせ場所を間違えて伝えちゃって・・・。

皆、驚いた顔。

藤井 （ぼそっとした感じで）俺、昨日、おふくろから聞いてた、島田の転校。
田川 ふ～みん、まじ？
藤井 うちのおふくろと島田のお婆さん、仲がいいからさ。あいつのおやじの会社、今、大変で、会社辞めて、おじさんの実家に引っ越しするらしい。お婆さんも体が弱いし、家事が出来ないものもあるんだろうな。
磯部 じゃあ、島田はいじめで転校するってわけじゃないんだな。
田川 良かったあ～
藤井 良かったって・・・どういう意味？
麻川 藤井くん！
藤井 いいはずないよ。このクラスは誰かを責めることで、皆仲がいいと勘違いしてきたクラスなんだ。何も解決してない中で、何も言わず、あいつは転校していくんだ。

間

山本 大変だろうな。3年の今からの転校って。
杉田 ・・だね。
長峰 大丈夫！あいつなら、やっていけるよ。
北山 島田は委員として、めっちゃ頑張ったと思うよ。お前らのダンスほんとにかっこよかったもん。特に印象に残ったのは、退場シーン！
磯部 俺も！あれには、ちょっと見とれたわ。
瀬川 あれれ・・。誰に見とれてたのかな？剛志。

皆、笑う。

仲本 観客に向かって旗を降ってさ・・とつてもすがすがしい気分で退場したの・・私・・今も覚えてる。
井田 いい曲だったね、あの曲。
戸山 「ユー アー ノット アローン」っだったっけ・・。
北山 「アローン」ってどっかで聞いたぞ。えっと・・えっと・・。
磯部 もしかして、この前TVでやってた「ホーム・アローン」のこと、お前、言ってる？
北山 うん、たしか留守番って意味だよな！
麻川 （呆れて）悟、明日も英語の学習、一緒に頑張ろう！
北山 もちろん、頑張りますよ～（宝塚ふう）「みなさん、よろしく～」
磯部 お前がいと和むわ～。

皆、笑う。

廣田 色紙用意するね。色紙の真ん中、私・・何か描いてこようか。
沢村 私が買ってくるよ。真ん中に皆でダンスするカット、入れてきていいかな。皆・・たくさん埋めてくれるよね。

多くの生徒が頷いている。

暗転

エンディング 出演者紹介

参考・引用文献

- 1) 河野里菜 (2020) 「青年期におけるいじめ加害者の攻撃性と罪悪感—ネットいじめと教室内のいじめを比較して—」 日本心理学会大会発表論文集 84 (0), pp194
- 2) 藤原成深・鴨志田冴子・若島孔文 (2023) 「LINE いじめが終結に至るプロセスに関する検討 —LINE いじめ被害者の対処行動と心理的変容に注目して—」 東北大学大学院教育学研究科心理支援センター研究紀要 (2) , p 101-p 120
- 3) 文科省 (2024) 令和5年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」
- 4) 富田幸子・真田穰人 (2022) 「いじめをテーマとする演劇が中学生の傍観者意識に及ぼす効果」 日本特別活動学会紀要 30 (0), p 63-p 72